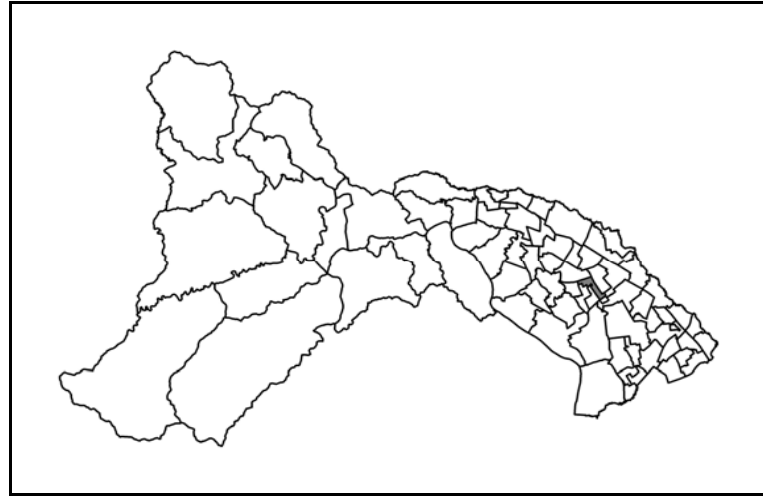


○地区を構成する町丁

【中央区】青葉1丁目、並木1丁目～3丁目、光が丘1丁目・2丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

光が丘(並木1丁目、並木2丁目、並木3丁目、並木団地、市営並木団地、青葉1丁目、自治会法人青葉二丁目、自治会法人光が丘1・2丁目、ひかり)

○地区概況

台地(上段)にあり、地区の中央から南東部にかけて浅い谷がある。ほとんどが住宅地として利用され、一戸建住宅が多い。北端は県道57号相模原大蔵町線に接する。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)
建物	木造(昭和55年以前)	642棟		
	木造(昭和56年以降)	1,126棟		
	非木造(昭和55年以前)	75棟		
	非木造(昭和56年以降)	302棟		
	合計	2,145棟		

人口		区分		人口(人)
人口	0～4歳	228人		
	5～64歳	4,589人		
	65歳以上	1,903人		
	合計	6,720人		

○所見

- ・全体に整然とした区画の住宅地であるが、生活道路は狭いところも多い。
- ・中央部から南東部にかけての浅い谷は平坦化されている。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	光が丘
病院等	梨本病院
主な災害時要援護者施設	ピコワークス、青葉ぶどう園、(仮称)グループホーム幸せふくろう並木、ゆうゆう荘・あすか、グループホーム あふり、生活ホームフロイデ
幼稚園、保育園	和泉保育園
学校、大学	和泉短期大学、並木小学校
避難所	並木小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	並木小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

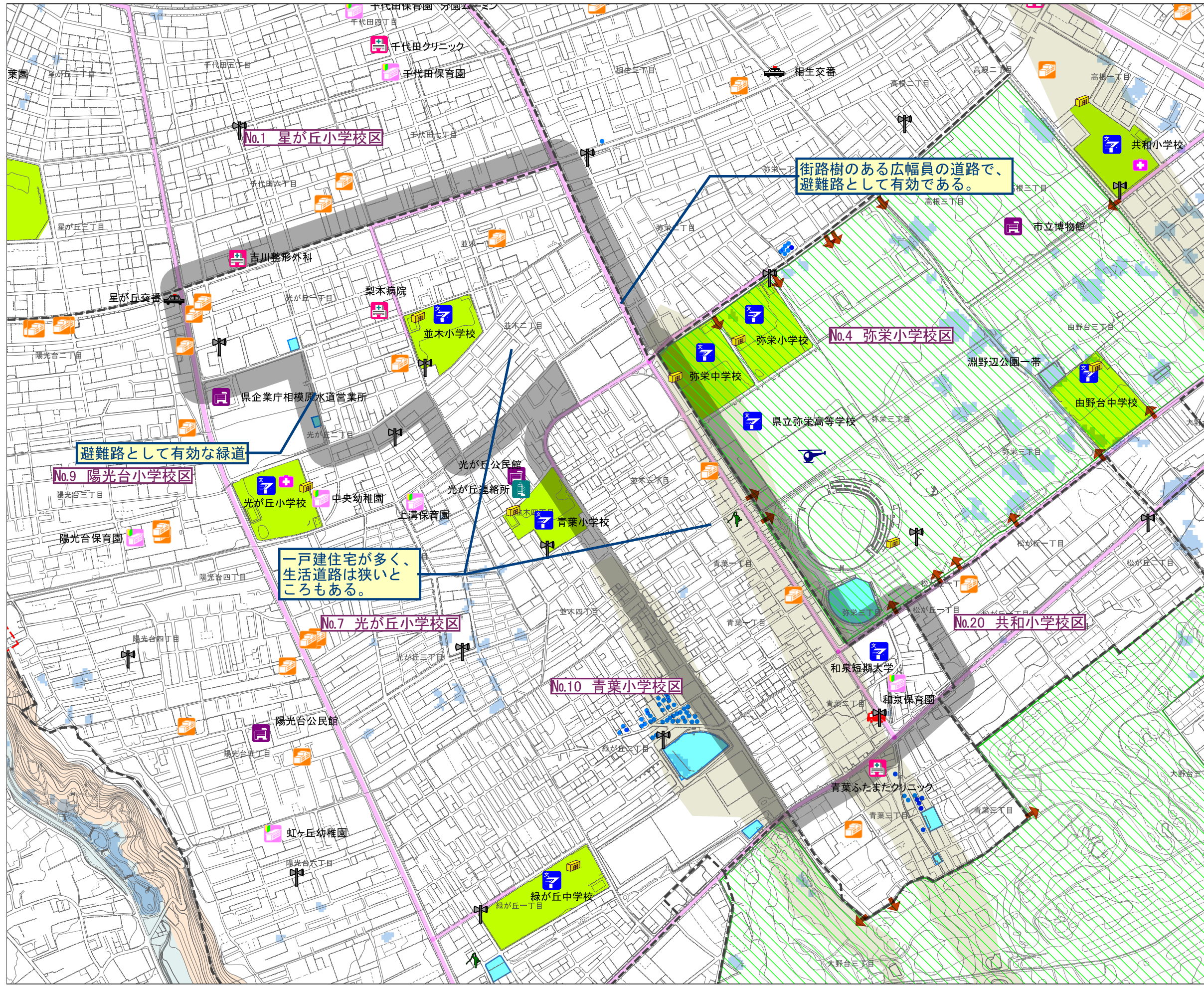
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	113棟	5.3%	32棟	1.5%	18棟	0.8%
建物焼失	38棟	1.8%	2棟	0.1%	0棟	0.0%
死者	7人	0.1%	2人	0.0%	1人	0.0%
閉込者	35人	0.5%	10人	0.2%	6人	0.1%
重傷者	8人	0.1%	2人	0.0%	1人	0.0%
軽傷者	50人	0.7%	27人	0.4%	20人	0.3%
避難所避難者(当日)	313人	4.7%	100人	1.5%	62人	0.9%
避難所避難者(1週間後)	637人	9.5%	374人	5.6%	297人	4.4%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	<div style="width: 25%; background-color: #cccccc;"></div>
土砂災害	<div style="width: 10%; background-color: #cccccc;"></div>
地震による地盤災害	<div style="width: 30%; background-color: #cccccc;"></div>
地震による建物被害、火災	<div style="width: 20%; background-color: #cccccc;"></div>

○近年の主な災害履歴

なし



地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

